

重点取組分野の数値目標と達成に向けた取組

重点取組 の分野	R10（2028）年度の数値目標	令和8年度の取組	令和8年 関係予算
動物福祉	動物福祉評価の全項目のうち「×：改善が必要」「△：改善の余地がある」と評価された項目の割合：全項目の5%以下	R7（2025）年度評価を実施する。 （参考） R4（2022）年度評価：21.2% R5（2023）年度評価：34.0% R6（2024）年度評価：10.1%	—
保全	放鳥・モニタリングするオオワシの累計数：5羽	オオワシの放鳥に伴う技術的懸念の解消のため科学的知見の集積に取り組むとともに、引き続きオオワシの関係者との合意形成を図る。 （R7（2025）年度：0羽）	北海道の野生動物保全費
保全	認定動物園等への研修会実施件数：年2回	認定動物園となった施設が今のところないため、研修会実施は未定。 保全活動連携協議会（準備会）の開催等により情報共有・連携に取り組むほか、準認定施設への必要な情報提供や助言等の支援によりステップアップを図る。また、未登録施設に対し、準認定施設への登録に向け働きかけを行う。 （R6（2024）、R7（2025）年度研修会実施：0件）	札幌市認定動物園推進費
教育	園内イベントへの参加を通じて生き物と人との関わりの大切さを理解した人の割合：100%（イベント参加者アンケート）	園内イベント等（子どもの1日飼育係、円山ZOOナイトツアー等）を通じて、生き物と人との関わりの大切さへの理解を促進する。 （R7（2025）年度：91.5%）	動物園教育推進費
調査研究	HP掲載の調査研究報告書等の閲覧回数：毎年増加	論文、報告書等の更新を適宜行うことにより、閲覧回数の増加を目指す。 R6（2024）年度：1,226回 R7（2025）年度：3,130回	—
リ・クリエーション	円山動物園を他の人にも勧めたいと答えた人の割合：75%（来園者アンケート） （参考：R4（2022）年度63%）	円山ZOOガイドや各種教育プログラムを通じて来園者の高い満足度を維持していく。 （R7（2025）年度98.3%）	動物園教育推進費
リ・クリエーション	円山動物園にまた来たいと回答した人の割合：79%（来園者アンケート） （参考：R4（2022）年度74%）	来園者の観覧環境の充実を図るため、以下の取組を進める。 ・定期的な園内掲示の見直し ・休憩スペース、キッズスペースの増設 （R7（2025）年度99.2%）	動物園経営費
基盤整備	持続可能な運営手法の導入検討	寄付やクラウドファンディングによる多様な財源確保、デジタルマップやオンラインチケット等を活用した来園者の利便性向上、業務の効率化を進める。	円山動物園おもてなし費
施設整備	園内施設の修繕必要件数：73か所 （参考：R4（2022）年度169か所）	各案件の優先順位、修繕方法等を決め、修繕を進めていく。 （R7（2025）年度 積残件数：117か所、新規発生案件：234か所、実施案件：263か所、残件数：88か所）	園内施設維持管理費
施設整備	施設保全計画の策定	保全改修メニューの洗い出しと優先順位付けを行い、関係部局とも調整して施設保全計画の策定を目指す。	—
施設整備	北海道ゾーン基本方針策定に向けた調査研究の実施	数値目標（調査研究の実施）は達成済み。今年度は、昨年度までの園内検討や、大学との調査研究等の結果を踏まえ、北海道ゾーンの整備の方向性を取りまとめた基本方針の策定を目指す。	—